



平成 29 年 12 月 22 日
伊勢市立大湊小学校
校長 後藤 安代

No.18



ゆく年くる年～1年の計は元旦にあり～

平成 29 年も残すところわずかとなりました。この一年で、大湊小の子どもたちは少しずつではありますが、体も心も学習面も成長をしてきています。4 月には、学校に来るのが精一杯だった 1 年生も、今はすっかり小学校生活に慣れました。少しずつ、自分のことだけでなく、友だちや周りの人のことも考えて行動できるようになってきました。中でも、重いランドセルを背負って学校まで歩いてきてもへこたれない体力がついたことが成長だと思います。

6 年生は、小学校生活は、残り 3 か月です。中学校での自分の姿を描きながら、今自分に必要な努力は何かを見極め、頑張りましょう。

寒い中ですが、次の学年に向けて力を蓄える時期です。勉強も運動もし、あわせて心もしっかりと鍛えましょう。

明日から冬休みが始まりますが、年末年始をはさみます。新しい年を迎える時に、この一年の中で「がんばったこと」は何かを親子で話していただき、たくさんほめてあげてください。そして、「がんばりが足りなかったこと」は何かも親子で相談していただき、新年の目標を決めて下さい。子どもの時代は、一年の成長が大きく、大人の予想をこえて成長していくこともあります。できることは、ほめて認め、課題になることはどうしていけばいいか一緒に考えて進めてほしいです。そして、1 月 9 日には、みんなが元気で登校してください。

茶道体験～6年生～

12 月 19 日に、本校体育館へ 5 名の茶道の先生に来ていただき、茶道の初歩を学びました。

はじめに、先生から、立っているときと座っているときの礼の仕方を教わりました。普段、何気なくしている動作にも意味があることがわかりました。

次に、お菓子とお茶をいただきました。お茶やお菓子をいただくときには、次の人に声をかけることや相手にお礼を言うなど日常生活でも必要な心遣いをたくさん教えていただきました。

最後には、茶道の先生方に深々とおじぎをして、茶道体験は終わりました。正座の時間が長く大変なこともあったけど、貴重な体験となりました。これからの生活で活かして行ってください。



地震車体験～揺れるとドキドキでした～

12月16日には、本校運動場へ三重県防災啓発車（地震体験車）に来ていただき、実際に大きな地震が起きたときに、冷静に行動がとれることを目的に、地震体験を実施しました。係りの方から、地震が起きたときの行動の仕方について話を聞いた後、全校児童や保護者、地域の方に震度5や6の揺れを体験してもらいました。

子どもたちは、係りの方の指示に従い、落ち着いて地震体験ができました。来ていただいた保護者の方も積極的に参加をしていただき、中には、「震度7を経験してみたい」と言われた方もいて、実際に2回目に震度7の揺れを体験していただきました。保護者の中には、「実際に地震にあったことがあって、その時は、この子をどうやって守ろうかと考えて、必死でした。」と話してくれた方もいました。大人も子どもも実際に地震が起きたら、動揺すると思いますが、この日の経験を思い出し、少しでも冷静に動いていただければと思います。また、このような体験をきっかけに、家具の固定など、各家庭での地震対策も考えてほしいです。

当日参加をしていただいた地域の方、保護者の方ありがとうございました。



防災学習～大学生とともに～

12月16日に皇學館大学の近藤准教授と大学生の上田さん、三重大学大学院生の中原さんが来校されて、「大湊町の避難経路を考える」をテーマに5年生の子どもたちへ授業をしていただきました。

はじめに、上田さんが、大湊町の古文書を使い、大湊町の昔の様子を教えてくださいました。

次に中原さんが卒業論文で作られた大湊町の大きな地図を使い、あらかじめ子どもたちが調べてきた「ブロック塀が倒れてきそうな場所」などの危険箇所につせんをつけていきました。その後、上田さんが作った透明なビニールに危険箇所を赤色で記入したものと地図を重ねてみると、子どもたちが調べた場所以外にも危険な場所がたくさんあることがわかりました。自分の家から避難をするときに、道路が通れなかったら、どこを通ればいいのかなどについてみんなで考えました。

学習に使った大きな地図を学校にいただきましたので、5年生の防災学習で使わせていただき、学んだことを還流してもらおう予定です。

